琉球新報夕刊（H19.8.24）

女性医師の職場環境整備

育児と両立、休職者掘り起こし…

県医師会部会発足 10月20日フォーラム

女性医師が育児と仕事を両立できる職場の改善や休職者の人材発掘などで医師確保を目指す、県医師会女性医師部会が発足、このほど浦添市の県医師会事務局で会合を開き、事実上、活動をスタートさせた。当面は結婚や出産などを機に辞めた県内在住者、県外の県関係者、沖縄で働きたい女性医師の名簿作成に全力を挙げる。「頑張ろう女性医師」と銘打ったフォーラムを十月二十日午後六時から那覇ホテルロイヤルオリオンで開催し、会発足を内外にアピールする。

女性医師の働きやすい環境づくりについて活発に意見を交わす県医師会女性医師部会のメンバーら＝15日夜、浦添市当山の県医師会事務局会議室

医師の不足や偏在が全国的な問題となる中、ここ二、三十年で比重が増している女性医師の働きやすい職場環境整備などが医師確保に向けた大きな課題になっている。

県医師会の会員は八月十五日現在、二千二百二人で、そのうち女性は三百二人。県の資料によると県内には約四百人の女性勤務医がいるとみられる。

会合では「若い女性医師に『医師になって良かった』と思ってもらえるように子育てしながら仕事ができる環境をつくろう」との意見や「県外から来た女性医師が人間関係をうまく築けず悩んでいるケースもある。交流の場、ネットワークを広げたい」などの提起があった。

女性医師部会長に就任予定の依光たみ枝県立中部病院医療部長は「育児休業の取得や家庭の都合で当直を外してほしい、と女性医師が言いにくい環境がまだある。仕事と育児を両立できる職場環境づくり、一時休んですぐ仕事に就くことへの不安解消、復職支援に取り組む」と抱負を語った。

同部会は十月のフォーラムへ多くの医師の参加と、休職中の女性医師にも会への加入を呼び掛けている。問い合わせは県医師会☎098（887）0666、メールアドレスはjimusyo@okinawa.med.or.jp

（新垣毅）

移設反対の会結成

ヘリパッド 東村高江住

【東】北部訓練場の一部返還に伴う東村高江周辺へのヘリコプター着陸帯（ヘリパッド）移設を止めようと、高江住民でつくる「ヘリパッドいらない」住民の会の結成式が二十四日午前、建設予定地につながる進入路入り口前で行われた。運動を支援する市民団体らも駆け付け約五十人が「森を守るぞ」と声を上げた。

高江住民や市民団体はことし七月、進入路前で座り込みをするなど、反対運動を実施。だが、那覇防衛施設局はこれまでに進入路三カ所に仮ートを設置。二十三ら資材搬入のため、路の整地作業を始め二十四日午前十一時は行われていない。

共同代表の安次嶺

FX脱税で主婦に有罪

東京地裁

懲役1年6月、猶予3年

個人投資家に人気の高い外国為替証拠金取引（FX）などで得た利益約四億円を隠し、約一億三千九百万円を脱税したとして、所得税法違反の罪に問われた東京都世田谷区の主婦池辺雪子被告（六〇）に、東京地裁（佐藤卓生裁判官）は二十四日、懲役一年六月、執行猶予三年を求めていた。

起訴状などによると、池辺被告は数年前に死去した母親の遺産などを元手にFXや商品先物取引に投資。二〇〇三―〇五年の間に得た所得を家族名義の口座に入金するなどして隠し、脱税した。金は預金のほか、呉服や宝飾品の購入などに充

千葉県警山武署刑に勤務する男性巡（四三）が、捜査してい件約百五十件の資料宅に持ち帰り、放置いたことが二十四日かった。県警は公文損と証拠隠滅の疑い

千葉・巡査長を書類

八二条が公開するよう要請しているのは訴えを受

補聴器のことはおまかせ下さい。
巣元寺石門向い
㈱琉球補聴器